

浜田市工業用水道事業の紹介

○事業の趣旨

浜田市は、平成17年10月、1市3町1村が合併して誕生した新市で、工業用水道事業は、合併前の三隅町時代、昭和53年に中国電力株式会社から石炭火力発電所建設の申し入れがあり、紆余曲折を経て、昭和61年に発電所の土地造成が開始され、平成7年に1号機が着工された。これに伴い、発電所及び発電所関連で計画されていた誘致企業に工業用水を給水するため、事業が創設された。

○事業の経緯

工業用水道事業は、三隅発電所に日量9,000m³、誘致企業に日量1,000m³の合計日量10,000m³の給水を行う計画で、平成6年4月に着工した。平成8年7月には三隅発電所への施設が完成し、平成8年8月から三隅発電所1号機に日量5,000m³の給水を開始した。

三隅発電所2号機は4,000m³の給水を行う予定で、平成13年に着工予定であったが、電力需要の低迷や地球温暖化対策への対応で、現在は平成26年着工予定となっている。

また、誘致企業用の施設は、平成8年10月に着工し、平成9年4月から日量400m³を1社に給水開始したが、現在は日量300m³を給水している。

さらに、平成17年に誘致企業が1社進出決定し、平成18年6月から日量100m³を給水している。

○ユーザーの概要

(平成20年11月1日現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
発電所	1	5,000
工業用ゴム製品	1	300
輸送用機械器具	1	100
計	3	5,400

○工業用水道施設の概要

水源は、二級河川三隅川の左岸に1箇所、右岸に2箇所の水源地を堤内地に設け、3井（日量10,000m³）から地下水を取水している。

各井から第1水源地に設置した受水槽に送水し、そこからさらに配水池（V=1,880m³）に送水し、配水管でユーザーに給水を行っている。

○事業の特徴

当事業の水源は地下水のため、水質は良好で浄水施設を必要とせず、メンテナンスに優れている。

また、地下水を取水することから、水源地周辺の地盤高と地下水位の定点観測を継続して行っている。

○浜田市役所のホームページ

<http://www.city.hamada.shimane.jp/>

浜田市工業用水道事業概要図

